

## 神戸東部支部

神戸東部支部は、神戸市中央区の災害復興住宅を中心に高齢者の健康相談等の活動を行っています。しかし、令和2年度・3年度はコロナ感染拡大の為、拠点活動は自粛、出前隊も主催者側からの開催中止などで活動は一切出来ませんでした。コロナ禍が続く中、社会情勢はできるだけ通常に戻そうとの動きがあり、「まちの保健室」も再開に向けて準備を行ってきました。十分な感染対策を施し非接触型の活動ができないかと思案を重ね、6月10日のコミュニティプラザを皮切りに活動を再開しました。

非接触型の活動では「ミニ講和」や「介護相談」「子育て相談」「認知症相談」を考えていますが、準備が整わずまだ行えていません。準備の一つとして、今年度のボランティアには認定看護師の登録を進めてきました。現在「緩和ケア」「がん化学療法看護」「感染管理」「小児救急看護」「認知症看護」の認定看護師の登録ができました。来年度はこの人材を活用して、安全に開催できるように計画を立てたいと考えています。

また、今年度から新たに開設された「東灘図書館」では、育児相談や子育て相談のニーズがあるのですが、従来の午後開催では来館しにくいとの声があり、今後は午前開催も視野に検討していく予定です。

## 東灘図書館

初回は、図書館の玄関先のスペースで「まちの保健室」を開始しました。通りすがりの方や図書館利用者の方々が、「まちの保健室」のコーナーに気づき参加してくださいました。実施した経験から、玄関先では寒さ対策ができないことと、来られた方が入口近くに並ぶことで自動扉が閉まらず図書館を利用されている方々に、寒い思いをさせるといった課題がありました。そこで、2回目からは、2階の会議室をお借りして実施しました。ただ、この場所は、図書館の利用者の方々の目に入らないためか、来られる方が1回目より減ってしまいました。図書館の関係者の方には、館内放送やホームページへの掲載といった対応をしていただきましたが、現在、今後の告知方法の検討をしているところです。



血管年齢測定



健康相談



## 脇の浜福祉センター

1月25日の拠点活動では、大雪で足元の悪い中、地域住民の方に参加いただきました。ほとんどが毎回来られるリピーターの方で、「コロナ禍で人の集まる場所には出かけられないから、ここで話をするのが楽しみ」と沢山話をして帰られる姿をみて、高齢化で核家族化が深刻化している地域では、このようなニーズもあるのだと思いました。

3月には「認知症にならないために」のミニ講和を予定しており、地域包括ケアセンターの協力を得ながら地域活動を行いたいと考えています。



体脂肪測定



健康相談・雑談風景

## コミュニティープラザ

昔から来られていた地域の方々には、久しぶりの活動開始に喜んでいただきました。しかし高齢化が進み、年々そのような方々も少なくなっておられることがわかりました。

血管年齢測定は毎年人気でありましたが、血管年齢を行うからだけでは来ていただけることにつながらないことがわかりました。来られた人は「ここに来ると看護職の専門的なことが聞ける」との声があり、病院に行くほどのことでもないが少し気になることや、病院の先生に聞けない事など気軽に聞くことができるのは、「まちの保健室」の役割だと考えます。

